

今月は【退院支援】についてご紹介します。

退院支援とは、患者さんが安心安全に在宅・社会復帰できるよう、入院早期から医師・看護師・リハビリスタッフなど多職種が連携し、支援を行なっていくことです。

## 多職種カンファレンスの様子



退院支援には様々な職種が関わります。

左の写真は、担当医と看護師、リハビリスタッフで患者さんの状態についてカンファレンスをしている場面です。

リハビリの効果や日常生活での課題、患者さんやご家族の希望なども含め、今後の方針を検討しています。

## 家屋調査

家屋調査では、安心して自宅に帰ることができるように、自宅の状況を把握し必要な改修について検討します。また、必要に応じて看護師とリハビリスタッフが実際にご自宅へ伺うこともあります。

自宅で「入院前にはどのように過ごしていたのか」、「退院後にはどのように過ごしたいのか」、患者さんやご家族とともに考え、病棟での生活やリハビリに活かしていきます。



▲看護師とリハビリスタッフがともに自宅へ



▲自宅で実際の動作を確認し改修などの検討

## 退院前カンファレンスの様子



退院が近くなると、退院後に関わるケアマネージャーや福祉スタッフなどが来院し、患者さんやご家族を含め、病棟スタッフとともにカンファレンスを行います。

退院後に患者さんやご家族がスムーズに在宅生活へ移行できるよう介入しています。

退院支援の内容や過程は、患者さんそれぞれで違いますが、個々に合わせた個別性のある支援ができるよう努めています。

平成29年7月から【回復期リハビリテーション通信】の掲載を開始いたしました。

次年度からは年4回の掲載(6月・9月・12月・3月予定)となります。引き続きご覧ください。

